

## [005]附属環境工学研究教育センター研究活動報告

<https://doi.org/10.15017/6794439>

---

出版情報：附属環境工学研究教育センター研究活動報告. 5, 2023-07-13. Center for Research and Education of Environmental Technology, Faculty of Engineering, Kyushu University

バージョン：

権利関係：



## 巻頭言

### サステイナブルな社会実現のための研究教育



九州大学大学院工学研究院  
工学研究院長 山本 元司

九州大学大学院工学研究院では、地球規模で複雑化する環境に関わる諸課題解決のための研究教育体制確立を目指し、2018年4月に従来の附属循環型社会システム工学研究センターを改組し、附属環境工学研究教育センターを設置しました。

本センターの設置目的として、循環型社会を目指した技術開発、地球規模の視点に立った環境対策技術の評価と提言、地球環境問題に関わる学際的・先導的研究の展開、国際的ニーズに対応できる研究組織の整備、地域における共同研究拠点としての組織、地球規模での問題解決に取り組む若手研究者の育成、環境研究に関する情報中枢機能を掲げております。

これらの目的達成のため、地球環境問題に対するグローバル課題研究、大気循環、海洋循環、越境環境問題等に対するインターフェース研究、エネルギー、資源問題等に対するローカル課題研究に分かれて、時限を付した研究テーマを掲げた複数の研究ユニットを構成して諸問題に取り組んでおります。これにより、本センターは急速に変化する現在の環境諸問題に即応可能で柔軟な研究教育体制を構築しています。

また、センターとして新たに「教育」の名を掲げたことにより、環境教育の推進に加え、市民活動への協力も含め、学内外を問わず環境に関わる教育活動も行っております。

近年では脱炭素社会の実現など環境負荷の低い循環・共生型社会システムの構築、環境的に安全な資源エネルギーの有効利用、資源の循環的利用技術開発などが強く求められており、地球環境諸問題の解決を目指した技術開発が喫緊の課題となっております。

本附属環境工学研究教育センターにおいてはこのような諸問題の解決を目指し、サステイナブルな社会構築を支援する研究教育活動が活発に推進されることを期待いたします。

関係各位におかれましては、本センターの活動趣旨をご理解いただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。